

### 第三者評価結果

事業所名：フェアリーテイルみらい

#### A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-① 【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成しています。全体的な計画をもとに、各年齢ごとに年間計画、月案を立てています。毎日の具体的な保育の内容は、週案で確認することができます。1・2歳児クラスには、クラスの月案の他に個人の月案を作成しています。長時間に渡る保育についての記載があり、一人ひとりの子どもの保育時間に配慮しています。作成に当たっては職員で話し合いを行い、ねらいと内容を設定しています。全体的な計画や月案は職員間で回覧して周知を図っています。必要があれば職員会議等で内容や保育方法の意見交換をしています。ねらいや目標が達成できない場合には、どのようにしたら達成できるのかを考え、次の計画の作成に反映させています。</p>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-① 【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 子どもが心地よく過ごすことのできる環境が整備されています。空気清浄機・加湿器を使用したり、窓を開けて換気し、室内を快適な状態に保っています。室温の目安(25℃)を掲示し、職員が意識できるようにしています。手洗い場・トイレの清潔を保っています。洗剤類は子どもの手の届かないところに収納しています。汚物槽には蓋をし、転落防止の配慮をしています。仕切りを利用したり、机を移動させるなどの工夫をし、くつろいだり落ち着ける場所を作っています。備品や遊具の破損は園長に報告し、撤去や補修を迅速に行っています。</p>	
<p>A-1-(2)-② 【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 職員一人ひとりが子どもの状態をよく観察し、それぞれに対応した保育を行っています。表現する力が十分でない1・2歳児には、優しく言葉をかけ、代弁しながら、気持ちを汲み取るようにしています。言葉については、会議などを通じて、せかす言葉や強い物言いをしないよう園長から話をしてしています。園長が保育現場に入り、アドバイスすることもあります。その時々の子どもの状況を見極め、出来なかったことは次の機会に回すなど無理をすることのないようにと伝えています。職員同士が掛け合う言葉遣いも丁寧です。発達過程から生じる子どもの個性を把握し、尊重した対応をしています。</p>	
<p>A-1-(2)-③ 【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt; 基本的な生活習慣を身につける環境の整備・援助を行っていますが、取組を共有するマニュアル等はありません。基本的な生活習慣の習得にあたっては、一人ひとりの子どもの主体性を尊重しています。1・2歳児クラスでは個人マークを使って自分の物の場所がわかるようにしています。手洗いはイラストを掲示し、楽しくやり方が身につくようにしています。幼稚園で午睡の時間がないことや起きている時間を有効に使うため、幼児クラスには午睡がありません。休息が必要な子どもには個別に対応をしています。部屋を少し暗くしたり、ゴザやバスタオルを準備し横になったり仮眠を取れるようにしています。</p>	

<p>【A5】 A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、絵本や玩具は自分で選べるようにしています。週に3日は戸外に出るようにし、幼児クラスは30分以上歩いて公園に行くこともあります。雨天の場合も室内でリズムやサーキット等で体を動かしています。外部講師を招いた英語・体操・絵画・リトミック活動により、いろいろな体験を積んでいます。退職した職員がボランティアで来園することもあり、様々な年齢層の人たちとの交流ができています。散歩中に商店街にあるパン屋や肉屋に寄り、商品を見たりお店の人と話す機会もあります。タブレットを使用して標識を学んだり、自治体の交通安全教室に参加して交通ルールを学んでいます。</p>	
<p>A-1-(2)-⑤ 【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	
<p>&lt;コメント&gt; 非該当</p>	
<p>A-1-(2)-⑥ 【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 一人ひとりの子どもの状況に応じて個々のカリキュラムを作成し、保育内容や方法に配慮しています。トイレトレーニングは保護者に園の様子を報告し、家庭の協力を求めて行っています。1歳児は十分な探索活動ができるよう廊下やベランダの使い方を工夫しています。朝夕の保育時間には、異年齢の子どもたちとの関わりがあります。散歩先の商店の人と挨拶を交わしたり、公園で遊んでいる親子と話をすることもあります。友だちとの関わりの中でトラブルが生じた時は、必要に応じて職員が仲立ちをし、遊びが展開するようにしています。アプリケーションを使って、毎日の子どもたちの様子を保護者に伝えています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑦ 【A8】 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 3歳から5歳児それぞれの年齢を考慮し、適切な環境を整備しています。玩具の選び方では小さいもの、長いひも状のものは、危険が無いよう注意をしています。保育室を広く使い、のびのびと遊んだり、保育内容によっては年齢ごとに分かれて過ごしています。朝の集まりは3歳クラスと4・5歳クラスに分かれて行っており、話す内容等に配慮しています。5歳児の人数の関係で、4、5歳児は一緒に過ごす時間が多く、ブロックや木製の積み木などを友だちと楽しみながら、協力して一つの物を作りあげています。トラブルがあった際は職員が仲立ちしてお互いの言い分を聞き、その後どうしたら楽しく過ごせるか、年齢に応じて対応しています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑧ 【A9】 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 障害のある子どもの保育の内容や方法に配慮しています。個別の指導計画に基づき、必要に応じて個別対応の職員を配置しています。子どもの状況に応じて、クラス活動に参加したり、他の遊びに誘ったり等柔軟に対応しています。集団の中で落ち着いて過ごしている時は見守り、さりげなく援助しています。療育センターの巡回相談に参加し、その内容を職員間で共有しています。自治体等の研修に積極的に参加し、知識や情報を得て保育に生かせるようにしています。特別に配慮が必要な子どもに対しては、記録を取り、担任と話し合い、保護者と面談を行っています。</p>	

<p>【A10】 A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 月案には長時間にわたる保育について明記しています。一人ひとりの子どもの在園時間を考慮した保育内容・方法に配慮しています。開園から朝の時間帯は、乳児と幼児が同じ室内で過ごしています。DVD視聴の時間が設けられており、内容については、子どもの状況を考慮して選んでいます。個別に配慮が必要な場合や、それぞれが好む玩具などの情報は、職員会議で共有しています。合同で過ごす時は年齢差も考慮して遊びを考え、また、乳児には誤飲防止等、幼児には遊び方などの配慮をしています。保護者への伝達事項は、引き継ぎ用紙を利用し、伝達もれが無いようにしています。</p>	
<p>【A11】 A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 全体的な計画や年間計画の中に、小学校との連携や就学に関連する事項を記載し、それに基づいた保育を行っています。幼児クラスになると基本的に午睡をなくし、小学校に合わせた生活リズムが自然に身につくようにしています。文字や数字に興味を持てるよう働きかけたり、時計にマークを付けて時間がわかるようにしています。小学校の前を通るように散歩のルートを設定したり、近隣の小学校に出向いて授業を体験したり、一緒に遊んだりする交流をしています。一人ひとりの進学先小学校の聞き取り調査に応じています。「保育所児童保育要録」を作成し、園長が各小学校に手渡しで届けています。5歳児のクラス懇談で就学を話題にしています。保護者の中から卒園委員を選出し、卒園から就学に向けた連絡が取れるようにしています。</p>	
<p>A-1-(3) 健康管理</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>b</p>
<p>&lt;コメント&gt; 一人ひとりの子どもの心身の健康状態の把握に努め、健康管理を行っています。健康管理をまとめる計画やマニュアルがなく、十分ではありません。職員とは毎月のカリキュラム会議で病気やケガの情報共有をし、保護者とはICTシステムや健康台帳を通して情報共有をしています。健康台帳は年度末に保護者に戻し、新しい情報を再記入してもらっています。2歳児未満に対しては睡眠時の呼吸チェックを行い、記録しています。看護師がおり、感染症対策等の指導にあたっています。系列園との合同で看護師による保健だよりを発行しています。</p>	
<p>【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>b</p>
<p>&lt;コメント&gt; 身体測定や健康診断・歯科健診の結果はその日のうちに保護者に伝え、記録しています。全体的な計画や月案に安全・健康に関する環境設定や配慮事項を記載しています。感染症対策もあり、手洗い・うがいに力を入れています。保健に関する取組の計画やマニュアルはなく、保育への反映は十分ではありません。健康診断等に看護師が同席し、嘱託医から伝えられたことを職員に周知し、必要に応じて保護者へ個別に伝えています。尿検査・3歳児の視聴覚検査を年1回実施しています。歯磨きは3歳児クラスから行い、食後、全員揃ってから、職員と歯磨きをしています。</p>	
<p>【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; アレルギー疾患のある子どもについて、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」を基に適切な対応を行っています。個々に提出された生活管理指導表に基づいた給食・おやつを提供しています。栄養士と連携を取り、厨房と配膳時のダブルチェックをするなど誤食が無いよう注意を払っています。食器はラインの入ったデザインのものを使用して他の園児と区別され、わかりやすくしています。アレルギー児の食事は他の子どもたちの後に別に提供し、他の子どもと間隔をあけて別テーブルで食事をしています。アレルギー児用の献立は、事前に保護者に渡して確認してもらっています。入園のしおりに、アレルギー対応をしていることを明記しています。</p>	



A-1-(4) 食事	第三者評価結果
<p>【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 年間食育計画を作り、食事を楽しむことができるよう工夫しています。乳児クラスでは、前向きな言葉かけを行い、食べることが楽しくなるようにしています。幼児クラスでは、保育者は落ち着いた言葉かけを行い、一人ひとりのペースで食事をするのができています。年長児の当番は子ども用の白衣を着用し、配膳の手伝いをしています。個々の子どもに合わせた箸やフォークを提供しています。食べる順番やおかわりは、子どもの意見を尊重し、働きかけはしますが、無理強いはしていません。屋上で野菜や稲を育て、収穫したものを給食の食材としています。グリーンピースむき、トウモロコシの皮むきを取り入れ、食材を身近に感じられるようにしています。給食だよりには写真を掲載し、食生活や食育の取組を保護者に伝えています。</p>	
<p>【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 「給食で笑顔になる」「心と食の取り組み」をテーマに、年間食育計画に基づいておいしく安全に食べることのできる食事を提供しています。系列園と共通の管理のもとに、献立を作成しています。サイクルメニューを実施し、月2回同じメニューを提供することで、好き嫌いや食べやすさの把握に努めています。外国籍料理や七夕のそうめんなどの行事食も取り入れています。栄養士が季節感を意識したランチョンマットを作り、楽しめる雰囲気作りをすることもあります。残食の記録や検食簿を作り、摂取状況の把握に努めています。月1回の給食会議には栄養士、園長、主任、クラスの代表が出席し、食事の様子や摂取状況を共有できるようにしています。給食室は配膳口と下膳口を別に設け、衛生面や人の流れがスムーズになる工夫をしています。</p>	

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
<p>【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 乳児クラスはアプリケーションを使用し、家庭との連絡を相互に行っています。幼児クラスはアプリケーションの一斉配信で、毎日の保育の様子を写真と文章で伝えています。保育参加は期間を長めにとり、保護者が参加しやすい工夫をしています。2時間程度、子どもたちの様子を観ることができます。絵本を読んだり、おしぼりを濡らすなどのお手伝いもしてもらっています。運動会には保護者も負担なく参加できる種目を工夫しています。年1回クラス懇談会があります。希望者は年1回個人面談ができますが、個別に話をしたいときや相談には随時対応しています。保護者との情報交換や面談の内容は個人ファイルに保管し、必要に応じて会議等で共有しています。</p>	
A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
<p>【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt; 保護者が安心して子育てができるよう支援に努めています。保護者の要望や思いを汲み取る支援の体制や、流れを明記したマニュアル等の整備はありません。保護者から相談を受けた場合は、園長に報告し相談してから回答する流れができています。日々の情報共有や落ち着いた対応を全職員で心掛け、保護者に対する言葉遣いも丁寧です。信頼関係が築けるよう、話をしやすい対応をしています。保護者の就労等の事情に合わせて柔軟な対応をしており、相談内容は個人ファイルに記録し、園全体で共有できるようにしています。</p>	
<p>【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt; 開園から現在までに家庭での虐待が疑われる事例はありません。早期発見・早期対応や虐待予防に努めています。受け入れ時や着替え、身体測定時には視診を行っています。子どもや保護者の小さな変化を見逃さないように、虐待等の可能性がある時は、写真を撮ったり園長や主任に報告する体制ができています。区役所や児童相談所とは、すぐに連絡を取れるよう連絡先を掲示しています。職員は自治体等の研修に参加し、児童虐待について理解し学んでいます。予防のための心構えや早期発見のポイント、早期対応の流れが職員間で周知できるマニュアル等の作成が望まれます。</p>	

### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
<p>A-3-(1)-①            【A20】 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>職員は自ら保育振り返り自己評価を実施しています。保育実践の改善や専門性の向上に努め、職員自身の気づきに繋がっています。自己評価用の用紙に年3回、個々の評価を記入しますが、評価内容は個々で選択しています。それをもとに定期的に園長面談を行っています。自己評価を行うことで、課題に気づき、次への意欲に繋げ、目標達成の確認をしてPDCAサイクルとしています。年度末にはそれらをまとめて、次年度の運営や保育の質の向上に役立てています。様々な分野の研修へ積極的に参加を奨励しています。研修で学んだことを会議等を通して共有し、保育の質の向上に繋がっています。</p>	